

RAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌
【2週間隔】アービタックス+mFOLFOX6療法 患者プロトコール

投与プロトコール		1コース14日間 制限なし		投与量	投与日	投与時間	備考
《開始時基準 PS:0～1 年齢:18歳～75歳》							
ルートキープ	生食 500mL			—	Day1	—	
プレメディ	ポラミン5mg＋デキサメタゾン＋5-HT3R拮抗剤＋生食100mL			Day1	30分		
①	アービタックス:500mg/㎡		mg	Day1	2時間		
	生食(500-アービタックス注入量)mL						
経過観察 (1時間)	アービタックス投与終了後、ルートキープ用生食でフラッシュ:アービタックスの投与速度と同じ速度(4mL/分)以下で。 以降、infusion reactionの発現に注意し、1時間経過観察。						
②	エルプラット:85mg/㎡		mg	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖 500mL						
③	レボホリナート:200mg/㎡		mg	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖 250mL						
★②・③は、同時に投与							
④	5-FU (急速):400mg/㎡		mg	Day1	全開		
	5%ブドウ糖 100mL						
⑤	5-FU (持続):2400mg/㎡		mg	Day1	46時間		
	生食 (トレフューザーtypeT流量換算表より算出)		mL				

佐賀大学医学部附属病院